

2019 年度 宣長十講

古典をよむ、今を見る。

～古典研究者・本居宣長とともに、1000 年前の古典の世界へ踏み込もう～

宣長が『古事記』研究に活用したたくさんの古典。それらを読むと、何がわかるのでしょうか。また、古くから宮中や神社の大祓の儀式で宣読される「大祓詞」にはどんな効果があるの？ 古典研究の師・賀茂真淵の教えのように、昔の歌を手本にして古風歌を詠むと何がいいの？ そもそも、宣長はなぜ『古事記』を選んだのか。そんな視点から「古典を読む」ことの意味を考えます。宣長が吉野飛鳥の史跡探訪をしたときの『菅笠日記』や、宣長が『古事記伝』を献上した光格天皇の話も登場します。

【日 時】 毎月第3土曜日 午後2時～（4月、8月を除く）※年間予定は裏面にあります

【場 所】 本居宣長記念館 2階講座室

◆年間受講ご希望の方◆

定 員：45名

資 料 代：1000円（全10回 資料代）

受付期間：2019年4月20日(土)～4月30日(火) 必着

下の受講申込書の郵送か持参、またはお電話にてお申し込みください。

※ 申込み多数の場合は抽選になります。ただし、当日も若干名の受講を受け付けます。※
抽選の結果は、5月上旬に郵送にてお知らせいたします。

【お問合せ・お申込み】 本居宣長記念館：〒515-0073 三重県松阪市殿町 1536-7

TEL (0598) 21-0312 / FAX (0598) 21-0371

※直接ご持参いただく場合の受付場所は以下の通りです。

4月20日(土)：松阪市産業振興センター 3階（第36回鈴屋学会大会・公開講演会会場）

4月21日(日)～4月30日(火)：本居宣長記念館

キリトリ

年間受講申込書

ふりがな	性別	年齢	歳
名前	電話番号		
住所 〒			

※お名前には必ずふりがなをお書きください。ご住所は、郵便番号・番地も明記してください。

2019 年度宣長十講 年間予定

2019 年

5 月 18 日(土)

「王朝貴族たちのくらしの様子 ～類聚雑要抄図巻から～」 齋宮歴史博物館 岸田早苗 先生

6 月 15 日(土)

「和歌に学び、和歌に遊ぶ ―宣長の歌道精進―」 国文学研究資料館 神作研一 先生

7 月 20 日(土)

「古典を口語訳することの大切さ ―鈴木胤『論語参解』を例として―」
同朋大学 石川洋子 先生

9 月 21 日(土)

「『菅笠日記』にみる宣長の「古典」」 天理大学 西野由紀 先生

10 月 19 日(土)

「宣長の祝詞注釈 ―大祓詞を中心に―」 皇學館大学 秦昌弘 先生

11 月 16 日(土)

「天皇の仏教信仰と宣長 ―『続紀歴朝詔詞解』を手がかりに―」
中村元東方研究所 森和也 先生

12 月 21 日(土)

「宣長と風土記」 千葉大学 兼岡理恵 先生

2020 年

1 月 18 日(土)

「古典をよむ、今を見る」 本居宣長記念館 吉田悦之 先生

2 月 15 日(土)

「『古事記』を読み、今を知る ―『古事記伝』の「直毘霊」―」 國學院大學 森瑞枝 先生

3 月 21 日(土)

「光格天皇と宣長」 大手前大学 盛田帝子 先生

聞き終わった頃には、宣長は古典を研究しながら、自身が生きる“今”を見つめていたんだ――
そう感じていただける十講です。

